

IMAGINE
THE
FUTURE.

附属大塚 学校だより

本校は、世界最高水準の知的障害教育を目指します。

「共生シンポジウム」報告～教室の窓から⑧～

昨年12月9日（日）附属高校桐蔭会館で『共生社会』を目指す「スポーツ交流とシンポジウムの集い」が行われました。黒姫高原共同生活に参加した中学部2年生と小学部6年生を代表して3名の生徒が附属久里浜を除く9校の代表と共に登壇し、黒姫高原で経験したことを話題提供しました。3人とも他附属の児童生徒に負けない堂々とした姿でした。シンポジウムでは、思い出を振り返りながら、障害のある人とそうでない人が共同で生活する困難さを乗り越え、互いに理解し合おうとする姿や、共に経験したことから得られた気づきや学びをそれぞれの言葉で伝える姿が印象的でした。一方で、視覚特別支援の生徒からは、「同じ瞬間に笑うこと、同じ瞬間に共有することの難しさがあること、協力したからといって周りが本当にストレスなく過ごせているか」という投げかけがあり、共生社会を目指す取り組みの難しさを感じました。それでも、最後は「先頭に立って共生社会と向き合うため、当事者から積極的に関わろうと思った」というコメントで締めくくり、参加者をホッとさせてくれました。しかし、彼の主張から、インクルーシブ教育を推進する附属学校群の教師として「心のバリアフリー」とは何なのかを考えなければいけないと感じました。そもそも「共に生きる」ということに、支援を「する側とされる側」の関係などありません。交流の場を設定しただけでは解決できないその先にある「個人が尊重される関係」は、どう築いたらよいのでしょうか。



シンポジウムの様子



大勢の参観者を前に堂々と発表

先人の礎と今 ～温故知新④ 嘉納治五郎と「自他共栄」の精神～

柔道の創設者であり、東京高等師範学校（現筑波大学）・附属中学校の校長を務めた嘉納治五郎先生の教えに、「自他共栄」があります。これは、社会の成員が、互いに信頼し、助け合うことができれば、自分も世の中の人とも共に栄えることができ、その精神は、やがて国の力となり、さらには国際関係や人類の福祉に貢献できるというものです。明治から昭和にかけて日本のスポーツと教育の発展に貢献した嘉納先生の教えは、現在のインクルーシブ教育に通じる思想と言えます。

学校教育では、「交流及び共同学習」が積極的に行われるようになりました。しかし、交流が単に「障害者理解」の場として提供されるのではなく、特別支援学校側にも明確な教育的意義や目標を掲げて「自他共栄」を目指すことが大切です。現実的には、交流の意義は、普通教育側から語られることが多く、「共生シンポジウム」での視覚特別支援学校生徒のコメントが、互いを尊重し、共に生きるとはどういうことかを考えさせられるきっかけになってほしいものです。

知的障害を有する本校の幼児児童生徒は、社会適応する上での困難さがあります。「共生シンポジウム」は、そんな彼らが他附属の児童生徒と肩を並べて発表する場を設けていることに意義がありました。障害のあるないにかかわらず、全ての人が対等であるという立場を前提に、障害があっても互いに「人を支える関係」の中で、個を認めていくことや、人のために役に立つ自分を自覚し、何ができるか、何がしたいのかについて考えられるようになってほしいと願います。本校はそうした子どもの将来像を持って「新しい知的障害教育を創造する」使命があると考えます。



弘道館にある嘉納治五郎先生の銅像

～学校評価アンケートについて～



平成30年度学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度は、76.7%（昨年度77.3%）の回収ができました。保護者の皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、本校の教育活動ならびに学校運営のより一層の充実を図りたいと考えます。今後は、アンケートの集計結果及び検討した改善案を各ご家庭に配布し、ホームページにて公表いたします。

～東京都総合文化祭のお知らせ～



東京都特別支援学校第27回総合文化祭5部門作品展が開催されます。本校も幼稚部から高等部までの幼児児童生徒の代表作品を出展いたします。

日時：平成31年1月23日（水）～28日（月）

場所：東京芸術劇場ギャラリー1・2

入場無料

問い合わせ先：東京都教育庁指導部特別支援教育指導課30-5321-1111



1月の予定



新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

- 10日（木）給食開始
スマイル（中）
スキー合宿事前学習②（中高）
新入生説明会13:30（会議室）
介護等体験T-①
香港教育大学視察（午前）
- 11日（金）スマイル（高）
介護等体験T-②
校外学習（中：東京ドーム）
卒業記念写真撮影
※卒業生と保護者が一緒に撮影
保護者会 13:30下校
- 15日（火）スキー合宿事前健診（中高）
スキー合宿事前学習③（中高）
発育測定（幼小）
- 16日（水）スキー合宿（中高）～18日（金）
- 17日（木）校外学習（小5.6年：湯島天満宮）
- 19日（土）附属駒場高校交流（小）
- 20日（日）成人式（桐親会）
- 21日（月）小学部振替休業
合同朝会
放課後支援（桐親会）
- 23日（水）ミニ避難訓練
生徒会選挙公示（高）
にこにこ広場・教育相談⑫
- 24日（木）校外学習
（小1.2年3.4年：湯島天満宮）
制服採寸14:00（新入生）
生徒会選挙立候補者受付（高）
- 25日（金）学校休業（幼小：教員研修）
給食なし
- 28日（月）合同朝会
生徒会選挙運動開始（高）
放課後支援（桐親会）
- 31日（木）作業オリエンテーション（中）

先人の礎と今～温故知新～⑤

筑波大学には、嘉納治五郎先生の銅像が三体あります。一つは講道館前（裏面掲載）、もう一つは、筑波大学の留学生センターのある大学会館前です。その理由は、嘉納先生が日本で初めて外国の留学生を受け入れたことに由来します。そして三つ目は、附属小学校に隣接する占春園です。この占春園は、現在文京区が管理していますが、本校前身の附属小学校5部が設置されていた場所です。NHK放送局では、役所広司さん演じる嘉納先生が日本のスポーツ発展のために尽力する様子がドラマとなっています。制作においては、本学体育専門学群の真田久教授が監修していますので関心のある方は番組をご覧になってはどうでしょうか。